

渋谷混声合唱団 第17回 定期演奏会

FRANZ  
**SCHUBERT**

F. シューベルト

**ドイツ・ミサ曲**

Deutsche Messe D872

**ミサ曲第2番ト長調**

Messe in G D167

**私の祈りの声に御心を留めたまえ**

Intende voci D963

2011 **7.9** **土**

2:00PM開演(1:15PM開場)

東京オペラシティコンサートホール タケミツメモリアル  
(京王新線 初台駅下車)

料金 一般3,000円 学生2,000円 全席自由

指揮 —— 水野克彦  
ソプラノ —— 佐竹由美  
テナー —— 望月哲也  
バス —— 山下浩司  
オーケストラ —— Symphonia Fons Harmoniae  
合唱 —— 渋谷混声合唱団

水野克彦



佐竹由美



望月哲也



山下浩司



水野克彦 *Katsuhiko MIZUNO*  
Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、しだいに中学生の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。2000年より渋谷混声合唱団常任指揮者。



佐竹由美 *Naomi SATAKE*  
Soprano

東京藝術大学首席卒業。同大学院博士課程修了、博士号を取得。ロータリー財団国際親善留学生としてミラノで研鑽を積む。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最優秀者に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際音楽コンクール第2位、カルロ・ゴメス賞受賞。ドイツ・ライプツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。バッハ、モーツァルト、ラターなど数々の宗教作品、及びオラトリオに於ける第一人者として常に高い評価を得ており、N響をはじめとする主要オーケストラとも数多く共演。確かな技術に支えられた透明感溢れる美声と洗練された歌唱で聴衆を魅了している。現代作品に於いても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得ており、数多くの新作の紹介に関わる他、日本歌曲の分野でも定評を得ている。またオペラでは、『魔笛』『後宮からの逃走』など二期会、日生劇場などに於いて主要キャストとして活躍し、公演の成功に大きく寄与している。今後は2011年11月2日に浜離宮朝日ホールにて「佐竹由美ソプラノリサイタル 英米歌曲シリーズ Vol.3」が予定されている。99年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞を受賞。二期会会員



望月哲也 *Tetsuya MOCHIZUKI*  
Tenor

東京藝術大学卒業、同学院オペラ科修了。'07年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡埃、ウィーン国立音楽大学研修課程リート・オラトリオ科にて研鑽を積んだ。早くからその美声は注目され、これまで『ポッペアの戴冠』『魔笛』『愛の妙薬』『ナクス島のアリアドネ』など数々のオペラで活躍。二期会・ハンブルグ国立歌劇場共同制作『皇帝ティトの慈悲』(P.コンヴェチニー演出)タイトルロールでは国際的評価を得、最近では'09年二期会：R. シュトラウス『カプリッチョ』フラマン、'10年びわ湖/神奈川県民ホール『ラ・ボエム』ロドルフォなども好評を博した。宗教曲の分野でも高い評価を得ており、サヴァリッシュ指揮N響定期シューベルト「ミサ曲」、アシュケナージ指揮同定期モーツァルト「レクイエム」などに出演。またシューベルト、マーラー、R. シュトラウス等の歌曲を深く探求する王子ホールでのリサイタルシリーズ「Wanderer」も絶賛を博しており、次回は2012年2月14日に予定されている。本年はその他に、新国立劇場『サロメ』ナラポート、二期会『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオなどが控えている。二期会会員。



山下浩司 *Koji YAMASHITA*  
Bass

国立音楽大学卒業、同大学院修了後、ザルツブルク及びウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。第9回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。第7回J.S.G. 国際歌曲コンクール第3位。オペラでは小澤征爾音楽塾プロジェクト『こうもり』『ラ・ボエム』『セビリアの理髪師』の演目で日本各地及び中国の天津、上海での特別演奏会に出演。サイトウキネン・フェスティバル松本では『ヴォツェック』『スベードの女王』、東京のオペラの森では『エレクトラ』『オテロ』『タンホイザー』などに参加。東京二期会『ドン・ジョヴァンニ』、『フィガロの結婚』、『魔笛』、『カプリッチョ』、新国立劇場『魔弾の射手』『ムツェンスクのマクベス夫人』等注目の公演に出演し好評を得る。小澤征爾、若杉弘、U. シルマー、M. ホーネックなどの著名指揮者と共演し、堅実な音楽性が高く評価されている。ドイツ歌曲においても豊富なレパートリーを持ち、日本各地で演奏会に出演。また、バッハ、モーツァルト、フォーレなどの宗教曲、及び「第九」等のソリストとしても活躍している。今後は11月日生劇場『夕鶴』に惣で出演予定。国立音楽大学専任講師。二期会会員。

渋谷混声合唱団  
SHIBUYA MIXED CHORUS

渋谷混声合唱団は、1984年12月に開かれた、「渋谷区民音楽のつどい〜第九を歌う会〜」第1回演奏会の出演者有志により、当時恵比寿社会教育会館長谷戸分館の社会教育指導員をされていた松崎フミ子先生に顧問をお願いし、このときのバリトンソリストの齋藤明生先生を指揮者にお迎えして、1985年4月に創設されました。16世紀のパレストリーナやバードの作品で宗教曲の基本を学び、ハイドン、ヴィヴァルディ、モーツァルトの大曲を歌えるようになりました。2000年1月から現指揮者の水野克彦先生にご指導をいただくことになり、宗教音楽を愛する団員の意気込みはますます大きくなり、さらに研鑽をかさね今日にいたっております。



シンフォニア・フォンス・アルモニエ  
SYMPHONIA FONSS HARMONIAE  
Orchestra

2000年に惜しまれつつ世を去った声楽家齋藤明生氏が生前、自ら指導する合唱団のために、親友であり音楽上の良き理解者でもあった海保泉・あけみ夫妻に結成を依頼し、1990年頃より活動を開始した。以後、楽団の名称や団員は演奏会の都度、若干の変動があったが、齋藤氏と海保夫妻の要求する音楽性は常に一貫して維持されてきた。齋藤氏没後、その遺志を継いで活動を続けるにあたり、新たな楽団名を Symphonia Fons Harmoniae (シンフォニア・フォンス・アルモニエ) とした。これは「楽団調和の泉」という意味である。海保泉氏の名にちなんでいる。

合唱団員募集

- 練習会場： 渋谷区内  
(主な練習会場：リフレッシュ氷川、ケアコミュニティ美竹の丘)
- 練習時間： 毎週土曜日 14:00~17:00
- 合唱指導： 水野克彦
- ピアニスト： 船澤めぐみ
- 連絡先： 小川 (TEL: 03-5560-7725)  
E-mail: yyy-dream@ta3.so-net.net.jp

合唱団ホームページ <http://shibukon.com>

※携帯電話からもご覧いただけます。



【交通のご案内】

- 京王新線「初台」東口  
都営新宿線相互乗り入れ京王新線にて新宿から2分
- 渋谷より京王バス 渋谷3・渋谷64・渋谷66・渋谷61  
都営バス 渋谷66  
(バス停留所) 京王バス(渋谷3・渋谷66・渋谷61)→東京オペラシティ南  
京王バス(渋谷64)→東京オペラシティ  
都営バス(渋谷66)→東京オペラシティ南